



下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2012. 11. 26

下水道機構の『新技術情報』 第69号

(財) 下水道新技術推進機構 <http://www.jiwet.or.jp/>



都内でも紅葉が見頃を迎えています。昨日は、神宮外苑の銀杏並木を見てきました！雲一つない快晴で、空の青さと金色のイチョウのコントラストがとても綺麗でした。

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第69号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

■□■□トピックス□■□■

★インフォメーション

- ・11月16日(金) 新技術現場研修会を G&U 技術研究センターで開催しました
- ・11月15日(木)に平成24年度第1回水処理技術共同研究委員会が開催されました
- ・11月14日(木)に平成24年度第2回管路技術共同研究委員会が開催されました
- ・11月20日(火)～22日(木) 熱電プラザ2012が開催されました

★機構の動き

- ・今週は、11月27日(火)にリアルタイム雨水情報ネットワークに関する共同研究委員会と水処理新技術実用化評価委員会が開催されます

★Tea Break

- ・ここ掘れワンワン (技術評価部 DiggingDog さんからの投稿です)

★【新コーナー♪】まる子のゆいまる

- ・今週は、インフォメーションのコーナーから新技術現場研修会の様子をお届けします！

★国からの情報

- ・号外及び11月26日付、11月16日付下水道ホットインフォメーション

.....
インフォメーション (最新の話題です)
.....

●11月16日(金) 新技術現場研修会を G&U 技術研究センターで開催しました。

今回の現場研修会は、「下水道マンホールふたの安全性確保」をテーマに埼玉県比企郡川島町にある G&U 技術研究センターで開催いたしました。マンホールは道路上にあることから身近な下水道施設ですが、全国で1,300万個設置されているもののうち安全対策の基準に満たないものが約3割あると言われていています。各種試験設備のデモ等を見学し、破損、スリップ、がたつき、豪雨時の浮上飛散などふたに係わる多様なリスクを再認識することができ、安全性確保に向けた最新の技術開発の状況など知見を深めました。特に1/2スケールの水理模型実験施設を使った豪雨時の再現実験では、下水管内に発生した跳水が移動し上流側のマンホールふたが飛散する水理現象を確認したり、実物のマンホールふたを使った浮上飛散実験では水柱が高く上がる迫力のある見学を体験することができ、参加された方もとても興味深く説明を聞いていました。また、当機構からは、民間企業との共同研究の成果である「下水道用マンホ

ールふたの計画的な維持管理と改築に関する技術マニュアル」の概要を説明し、ふたの維持管理（改築）計画の策定手法等を紹介いたしました。

現場研修会の様子は [こちらから](#)

→ http://www.jiwet.jp/mailmaga_yuimaru/staff-info/genbakenshukai-vol.60.pdf

●11月15日(木)に平成24年度第1回水処理技術共同研究委員会（委員長：東京大学 味埜教授）が開催されました。

議題は、「酸化剤を用いた余剰汚泥削減技術（標準活性汚泥法）に関する共同研究」の1件になります。本研究は、平成23年度からの継続案件になりまして、大分市、日鉄住金環境(株) および扶桑建設工業(株)と当機構の4者による管理者参加型の共同研究として実施しております。

今回の委員会では、技術概要、研究内容および実証試験結果等について報告を行い、得られた実証試験データの整理方法、評価方法等についてご意見を頂きました。次回の委員会では、今回のご意見を 反映した新たな試験データ等について、再度、ご意見を頂く予定をしております。

なお、本研究は、平成25年度まで実証試験を実施し、技術マニュアルとして取りまとめる予定をしております。

●11月14日(木)に平成24年度第2回管路技術共同研究委員会（委員長：早稲田大学 小泉教授）が開催されました。

当日は、『シールド切替型推進工法の技術に関する共同研究』の1件について議論が交わされました。

本研究は、デュアルシールド工法協会との共同研究であり、7月に開催された前回の委員会では曲線半径10mの模擬トンネルを用いた施設見学を行った上で、本技術の審議を行いました。

今回の委員会では、前回の委員会で挙げられた研究の課題について整理した結果や、推進・シールド設備の標準化について整理した結果の報告を行い、それらの内容について審議いたしました。

本研究は、今回の審議内容をふまえて、今年度中に技術資料のとりまとめを目指しております。

●11月20日(火)～22日(木) 熱電プラザ2012が開催されました

東京ガスと日本ガス協会主催のエネルギーソリューション総合展である熱電プラザ2012が先週開催されました。「熱と電気のオーダーメイドでエネルギーのネクストステージへ」と題した総合展示会で、当機構が取り組んでいる下水道の持つ未利用エネルギーの活用、下水汚泥のバイオガス利用等の調査研究にも関連することから、当機構でも後援をさせていただきました。ガスコジェネレーション、省エネ機器の紹介のほかICTを活用した分散型エネルギーシステムの提案など幅広い展示が行われ、多数の来場者を迎え盛況のうち終了したとのことでした。

◎平成 24 年 11 月 27 日(火) 13:00～15:00

平成 24 年度第 1 回リアルタイム雨水情報ネットワークに関する共同研究委員会

場所：下水道機構 8 階 特別会議室 議案：リアルタイム雨水情報ネットワークに関する共同研究

◎平成 24 年 11 月 27 日(火) 13:30～16:45

平成 24 年度第 2 回水処理新技術実用化評価委員会

場所：東京都篠崎ポンプ場（東京都江戸川区）、議案：NADH センサーによる風量制御窒素除去法、雨水吐口設置可能コンパクト合流改善技術の審議

◎平成 24 年 11 月 29 日(木) 15:00～17:30

平成 24 年度第 2 回津波シミュレーションモデル利活用検討委員会

場所：下水道機構 8 階 中会議室、議案：シミュレーション成果の利活用の審議

●平成 24 年 12 月 13 日(木)

第 310 回技術サロン 17:00～18:00 場所：下水道機構 8 階会議室

ゲスト：日本下水道事業団 技術戦略部技術開発審議役 国際室長 藤本裕之氏、

テーマ：J S における技術開発の取り組みについて

※参加お申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.jp/school/school-07-310.htm>

Tea Break (機構職員の感じるまま)

●ここ掘れワンワン（技術評価部 DiggingDog さんからの投稿です）

暦の上で立冬も過ぎ、冬の気配が漂い始め、フトンから出にくい季節になりました。それもそのはず、機構に来て早や八ヶ月半。ついこの間まで春だった気がしてなりません。この季節になるとソワソワします。自分には春と秋、季節限定の趣味があります。春には、タラの芽に代表される山菜を採りに山に入ります。他にもフキノトウ、コゴミ、モミジガサ、コシアブラなどなど。秋になれば山栗、胡桃を拾いに出かけます。霜が降りる前のこの時期は、自然薯掘りです。山に自生する天然物を掘りにでかけます。自然薯を見つけるのは簡単ですが、掘り上げるのは一苦労。先週、3人掛かりで2時間かけて1本掘り上げました（先週の成果は、5本です）。汗と泥でドロドロになりますし、筋肉痛にもなりますが、掘っている時は意味もなく楽しいし、折らずに掘りあげると達成感があります。何よりも、口とお腹を満たしてくれます。でも、掘った穴を埋め戻すのが大変です。

まる子の結まーる (皆様との交流の場です)

●今週は、インフォメーションのコーナーから新技術現場研修会の様子をお届けします！

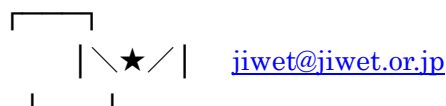
●『しあわせ報告』

11月22日は「良い夫婦の日」でしたが、機構では、総務部の Y.M さんが、11月21日に、技術評価部の K.I さんが11月24日にそれぞれご入籍され、新たに2組のご夫婦が誕生しました！おめでとうございます！末永くお幸せに♪

Congra
tulations____☆

皆さまからの情報提供をお待ちしておえます！

提供はこちらまで→



※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。
なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。



下水道ホットインフォメーション (2012.11.26 (号外)、国からの最新情報です)
送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 吉澤正宏



インターネット放映情報についてお知らせします。11月19日(月)より、NHK 海外
ニュースラインにて放映された動画が、インターネット上でも視聴可能になっており
ます。NHK のホームページ上の、企画などストックする「Features」というコーナー
にアップされていますので、ぜひご覧下さい。

<放映内容> (タイトル：Tomorrow's Power)

・大阪市中浜下水処理場で実施されている B-DASH プロジェクト (「超高効率固

液分離技術を用いたエネルギーマネジメントシステム) の紹介

・「下水道からの新技術による発電」を特集

<http://www3.nhk.or.jp/nhkworld/english/movie/feature201211190810.html>

(視聴可能な期間がアップから 1 週間ほどとのことでしたので、「号外」にてお知らせ
致します。)



下水道ホットインフォメーション (2012.11.26 付、国からの最新情報です)

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 吉澤正宏



おはようございます。先週末出張があり、発信が遅くなりました。申し訳ありません。

さて、とりわけ東日本大震災の被災地域の関係の皆様へ情報提供させていただきました。
既に新聞等で報道されておりますが、復旧・復興工事に係る法令遵守の徹底につ
いて、国土交通省より記者発表しております (11月19日、下記HPアドレス参照)。

復旧・復興工事に携わる建設業者の方々には、法令を遵守しつつ迅速で質の高い施工が求められていることから、今後、関係機関である国土交通省、厚生労働省、警察庁、岩手県、宮城県、福島県は連携を図りつつ、復旧・復興工事に係る「適正な契約取引の確保」、建設施工現場の「適正な施工及び安全衛生の確保」、「不良不適格業者及び偽装請負並びに暴力団の排除」といった法令遵守の徹底・推進に取り組んでいくというものです。引き続き、「復旧・復興事業の施工確保に関する連絡協議会」において、被災地の復旧・復興工事のスピードアップ等の様々な対策を推進していますので、ご留意ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/totikensangyo13_hh_000181.html

連絡協議会について→

http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_tk1_000043.html

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

●公開講演会「下水道の価値を考える」の開催について【東京下水道設備協会】

=====

●公開講演会「下水道の価値を考える」の開催について【東京下水道設備協会】

一般社団法人東京下水道設備協会では、「下水道の価値を考える」をテーマに公開講演会を開催します。

http://setubikyo.or.jp/main/H24_kouen.pdf

・講演概要：下水道は生活環境改善や水質保全、雨水排除など基本的な都市機能を満たしてきました。最近、この他にも下水道からエネルギーや貴重な物質を回収する動きが出てきました。これらの動向を分析し、下水道からの価値創造について考えます。

・講師：前（財）下水道新技術推進機構 元東京都下水道局 中里卓治氏

・構成（予定）

- 1.下水道の価値とは
- 2.下水道熱利用の変化
- 3.紙製下水道管・Zパイプの健闘
- 4.海水浄化プロジェクトへの期待
- 5.汚泥処理の新展開
- 6.下水汚泥から金産出、その後
- 7.まとめ

・日時：平成 24 年 12 月 7 日 14:00～16:00

・場所：東京都新宿区西新宿 4-33-7 角筈区民ホール

・申し込み：下記 e メール又は FAX 03-3346-3055 でどうぞ

watanabe@setubikyo.or.jp

・問い合わせ：03-3346-3051

<再掲>

報告会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の報告会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認

ください。

- 「京都大学-清華大学 第4回深セン GCOE・EML シンポジウム」の開催について
【京都大学日中センター（中国・深セン）】
（12月14～15日開催）

参加希望の場合は、京都大学日中センター（中国・深セン）の岡本まで

okamoto.seiichiro.8s@kyoto-u.ac.jp

→11月16日掲載

- 国総研講演会開催について【国土技術政策総合研究所】
（12月4日開催）

<http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kouenkai/kouenkai2012/kouenkai2012.htm>

→11月8日掲載

- 「平成24年度第1回 地震・津波に関するシンポジウム～東海・東南海地震・津波にどうむかいあうべきか～」【全国上下水道コンサルタント協会】
（12月20日開催）

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

→11月8日掲載

=====

【参考情報】

- ◆広島で大雨 冠水相次ぐ <11/16 中国新聞>

<http://www.chugoku-np.co.jp/News/Tn201211170169.html>

- ◆ゴミをお金に！地球に優しいバイオマス発電 参入する企業や自治体続々 <11/17 nifty ニュース>

<http://news.nifty.com/cs/economy/economyalldetail/moneyzine-20121117-206153/1.htm>

- ◆旭化成ケミ、下水処理水のリン回収する吸着剤を量産 <11/19 日刊工業新聞>

<http://www.nikkan.co.jp/news/nkx0820121119cbab.html>

- ◆「私の左右でマンホールの蓋が飛んだ」...相次ぐ下水爆発＝浙江 <11/19サーチナ>

http://news.searchina.ne.jp/dispatch.cgi?y=2012&d=1119&f=national_1119_023.shtml

- ◆全国高校ラグビー：花園会場50周年・闘志の磁場／8 治水 練習場の地下に調節池 <11/20 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/news/20121120ddn035050039000c.html>

- ◆マンホールトイレに視察続々 先進地の長岡京市 <11/20 京都新聞>

<http://www.kyoto-np.co.jp/politics/article/20121120000039>

- ◆大雨被害減へポンプ新增設 玉野市内8カ所 <11/20 山陽新聞>

http://www.sanyo.oni.co.jp/news_s/news/d/2012112009331187/

- ◆インフラ輸出への一步 アジアに向けた横浜市取り組み <11/21 日本経済新聞>

http://www.nikkei.com/article/DGXNASFK14026_U2A111C1000000/

- ◆首都圏リポート／千葉・浦安市の液状化対策－官民で技術開発本格化 <11/22 日刊工業新聞>

<http://www.nikkan.co.jp/news/nkx1420121122hlaq.html>

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000180.html

- 「京都大学-清華大学 第4回深セン GCOE・EML シンポジウム」の開催について
【京都大学日中センター（中国・深セン）】

来る12月14～15日に、中国広東省深セン市の清華大学深セン研究生院において、「京都大学-清華大学 第4回深セン GCOE・EML シンポジウム」が開催されます。

本シンポジウムでは、大学間の連携のみならず、国内外の企業や関係機関と中国南部における企業や関係機関との連携に向けた情報交換、議論の場を設け、今後、京都大学、清華大学とともに中国南部での活動、事業展開に向けた日中両国関係者の連携の契機づくりを目的としています。

なお、今回のシンポジウムでは、参加企業・団体からの技術・製品等紹介のポスター展示、およびプレゼンテーション（3分程度）の募集も行っています。また、深セン市内の浄水場・下水処理場の現地視察も予定しています。

参加希望の場合は、京都大学日中センター（中国・深セン）の岡本あてに11月27日まで

にご連絡ください。参加申込書などを送付いたします。

okamoto.seiichiro.8s@kyoto-u.ac.jp

<再掲>

報告会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の報告会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

- 国総研講演会開催について【国土技術政策総合研究所】
(12月4日開催)

<http://www.nilim.go.jp/lab/bbg/kouenkai/kouenkai2012/kouenkai2012.htm>

→11月8日掲載

- 「平成24年度第1回 地震・津波に関するシンポジウム～東海・東南海地震・津波にどうむかいあうべきか～」【全国上下水道コンサルタント協会】
(12月20日開催)

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

→11月8日掲載

=====

【参考情報】

- ◆下水道の歴史を紹介 中区の処理施設 愛知 <11/10 中日新聞>

<http://www.chunichi.co.jp/article/aichi/20121110/CK2012111002000049.html>

- ◆御坊市が大雨排水対策で民間のため池購入 <11/11 日高新報>

<http://www.hidakashimpo.co.jp/news/2012/11/post-4766.html>

- ◆潮来市日の出地区 地下水くみ上げ 液状化防止実験 <11/13 東京新聞>

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/ibaraki/20121113/CK2012111302000145.html>

- ◆イタリア:豪雨、高潮でベネチア浸水...一時中心部の7割 <11/13 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/select/news/20121113k0000e030152000c.html>

◆汚泥処理:苦悩する自治体 下水道整備進む/し尿処理施設増設/山間部では肥料に /福岡 <11/14 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/fukuoka/news/20121114ddlk40010406000c.html>

◆稲わらを新エネルギーに <11/14 新潟日報>

<http://www.niigata-nippo.co.jp/news/local/20121114011961.html>

◆北九州市:インドネシアで下水道計画策定事業 /福岡 <11/15 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/area/fukuoka/news/20121115ddlk40010357000c.html>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～

●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■

発行元：財団法人 下水道新技術推進機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから → <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/>

○コラムの正解はこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20120229/seikai2.pdf>

■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■●●●■